

第5回川口市行政評価外部評価委員会			
日 時	令和2年2月21日(金) 13:30~14:35	場 所	第二庁舎 地階会議室
評価委員	石川委員長、佐藤副委員長、入野委員、隅内委員、田中委員、 團野委員、増田委員、稲垣委員、世古委員	傍聴者数	0名
事務局	福田企画財政部長 企画経営課：藤田課長、竹田課長補佐、田中主査、秋山主任、菊池主事		

(1) 外部評価結果に対する事業担当課の対応方針について
<p>○資料1 「令和元年度川口市行政評価外部評価委員会評価対象事業総括表」について事務局より説明</p> <p><質問・意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隅内委員 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「特別支援教育支援事業（小学校障害児送迎事業）」について、令和2年度の予算が前年度より増額している理由は、特別支援学級を増設するためか。 ◇ 特別支援学級を増設するためではない。令和2年度より、登下校の通学支援から登校のみの通学支援にすることを検討していたが、実施は一部となり、事業内容は若干縮小したものの、タクシー料金の大幅改定により送迎単価が上昇したため増額となった。 ➢ 値段交渉をもう少しシビアにしたほうがよいのではないか。 ・ 増田委員 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「在宅歯科診療事業」について、令和2年度の予算が前年度より若干減額しているが、理由はなにか。 ◇ 令和元年度は天皇即位による大型連休があり、例年より単価が割増であったが、令和2年度については、例年とおりの予算に戻したため、減額となっている。 ・ 團野委員 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「特別支援教育支援事業（小学校障害児送迎事業）」について、特別支援学級の設置を促進していくとのことであるが、具体的な計画があるわけではない。小学校障害児送迎事業の廃止だけに留まらず、特別支援学級の全校設置を見据えて事業を実施してほしい。
(2) 外部評価結果に対する事業担当課の取り組み状況について
<p>○資料2 「川口市行政評価外部評価委員会からのご意見に対する取り組み状況」について事務局より説明</p> <p><質問・意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隅内委員 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「霊園施設管理費」について、散骨や墓じまいが増えるなど、埋葬に関する文化が変化している。社会の埋葬に対する考え方の変化を念頭に入れて、抜本的な改革をしてほしい。
(3) 外部評価委員会へのご意見に対する回答及びアンケート結果について
<p>○資料3 「令和元年度川口市行政評価外部評価委員会に対するご意見及び回答」及び資料4 「令和元年度川口市行政評価外部評価委員会アンケート結果」について事務局より説明</p>

<質問・意見>

なし

<3年間を通しての意見・感想等>

- ・ 増田委員
 - 評価に関しては、回を重ねるごとに良くなっていると感じた。事業については、時代に合わせ、スクラップアンドビルドで実施することは、大事なことである。しかしながら、行政の事業は始めることは容易ではあるが、廃止・縮小となると、難しいものもあると感じた。
- ・ 入野委員
 - 日常生活では知ることのできない市役所の事業を知ることができた。必要な事業もあるが、不要な事業もたくさんある。川口市民としては、市が実施している様々な事業により、生活を補填してもらっていることは幸せだと感じている。素晴らしい事業を実施しているからこそ、「本当に住みやすい街大賞 2020 (アルヒ株式会社)」の第一位になることができたと思う。より実になる予算執行を行うことで、さらに川口は良くなると思う。
- ・ 隅内委員
 - 3年間勉強させていただいた。1つ1つの事業の積み重ねが川口市の予算となる。無駄も積もれば山となる。予算に対する両面からの見方、切り込み方で、外部評価を行うことができたことは、非常に有意義であった。
- ・ 田中委員
 - 川口市の事業をあらためて知ることができた。行政は利益追求だけではない部分があるため、一概には言えないが、可能な限り、相見積もりを取ったり、業者比較を行うことは重要であると感じた。
- ・ 稲垣委員
 - 1年目は評価すること自体が大変であったが、2・3年目は落ち着いて評価することができた。この3年間を通して、事業に対して客観的な見方をすることもできるようになり、評価することが楽しくなった。
- ・ 世古委員
 - 外部評価で意見したことがほんの少しでも、事業改善につながれば嬉しい。
- ・ 團野委員
 - 外部評価に参加したことで、市の行政の良いところ、悪いところ共に気づくことができた。外部評価の事業は川口市の事業のほんの一部であり、その他にもたくさんの市の事業がある。外部評価を行うことにより、市民の目を通して事業の改善を図るということを今後も続け、さらに良い行政を行ってほしい。
- ・ 佐藤副委員長
 - とても良い評価をしてきたと思う。他市と比べても、川口市の評価は意欲的であると感じている。事業担当課が外部評価に前向きなこともめずらしい。外部評価委員会の存在意義も高いと感じている。また、市政が素晴らしいと思う。現状のモチベーションで外部評価を今後も続けてほしい。外部評価委員として市に貢献することができ、非常に有意義な3年間であった。

・ 石川委員長

- 評価の進め方が非常に前進したと感じている。評価の方式が、担当課との対峙から意見交換になったことで、非常に建設的になった。また、評価に対する担当課の対応、財政課の対応が見えるようになった。やりっぱなしではなく、評価事業について、どのような検討がされ、現状がどのようなであり、将来どうなっていくのかが、見えるようになったことは、非常に良い。また、「特別支援教育支援事業」、「霊園施設管理費」など、実際に外部評価による進展が出てきている。市に貢献している委員会であり、意欲的で先進的である。見本となる評価の進め方を行っている。

以上